

# 子どもの事故予防に向けて —安全知識循環型社会構築事業—

2009年8月7日

経済産業省デザイン・人間生活システム政策室

高木美香

# 繰り返されている子どもの事故

- 1960年代から、0歳の除く子どもの死因の第一位は不慮の事故。
- 0～19歳の不慮の事故による死亡数(2007年) : **1116人**
- プールの配水口事故は40年間で60件超、55人が死亡(出典:月間体育施設)。

## 年齢階級別に見た死因順位

(全死因 6494人)

年齢	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
0歳	先天奇形等	呼吸障害等	乳幼児突然死症候群	不慮の事故 127人	出血性障害等
1～4歳	不慮の事故 177人	先天奇形等	悪性新生物	心疾患	肺炎
5～9歳	不慮の事故 150人	悪性新生物	先天奇形等	肺炎	心疾患
10～14歳	不慮の事故 124人	悪性新生物	自殺	心疾患	先天奇形等
15～19歳	不慮の事故 538人	自殺	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患

(2007年人口動態統計)

# 情報共有がなされていない子どもの事故

- 子ども用の衣類に関する苦情をメーカーに伝えた人は2.4%に過ぎず、96%の人がどこへも言っていない。

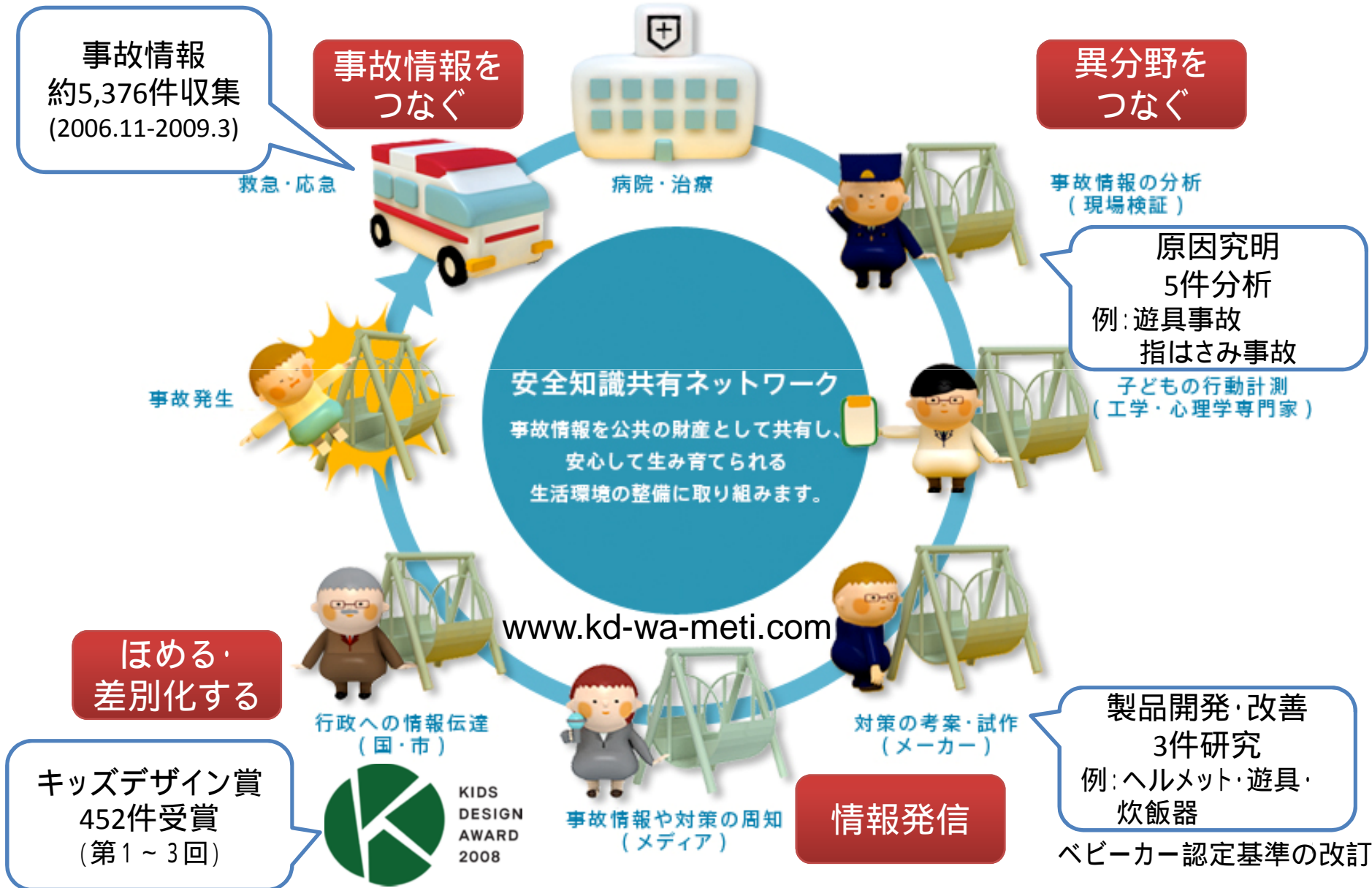
子どもの衣類による危害等の原因が「衣類・表示・取扱説明書の問題による」と考える人の苦情の申し出先  
(回答数297:複数回答可)

苦情の申し出先	%
どこへも言わなかった	96.0
メーカー	2.4
販売店	1.7
消費生活センター	0.3
遊具等の施設等を管理している店・役所等	0.0
分からない	0.7

(2006年東京都調査) <sup>2</sup>

# 今何が必要かー責任追及から原因究明へ

•子どもの事故は繰り返されている。“親が悪い”“メーカーが悪い”という責任追及と反省だけではなく、関係者・専門家が連携して原因を究明し、再発防止とさらに安全なものづくりのために情報を発信する。



# 事故情報収集(成育医療センター)

- 成育医療センターのトリアージで、子どもの事故情報入力ソフトを使って聞き取り調査を実施。
- NAASH(日本スポーツ振興センター)から遊具での事故情報を収集
- 国民生活センターとの連携

子どもの傷害予防のための調査票

基本情報

個人情報

性別

年齢

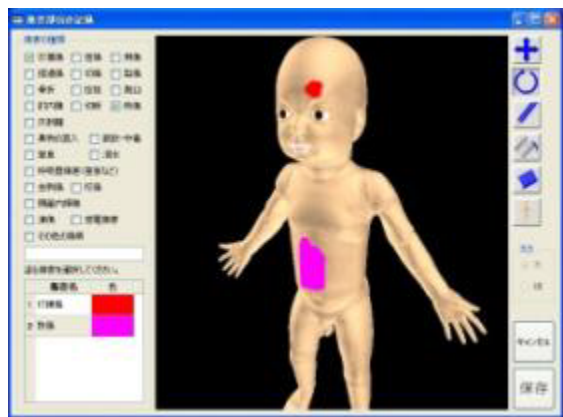
事故の状況

事故発生日時

事故の種類

子どもの状態

治療の種類



事故情報の収集状況  
2006年11月から2009年3月 **5,376件**

**事故の状況**

5. 事故発生日時
6. 事故の種類
7. 事故を起こした直前にしていた行動は
8. 事故に関係があったモノは
9. そのモノは子どもが日常よく使うものですか
10. また親が日常よく使うものですか
11. モノの詳細
12. 事故が起きた場所
13. 12の時の場所の詳細
14. 一緒にいた人は
15. 一緒にいた人は事故が起こった時に何をしていたか

**救急部にて、調査項目**

- 事故の種類
- 直前の行動
- 傷害の種類
- 傷害の部位
- 治療の種類

などを20項目を記入

H20年度開発した事故サーベイソフト

# 原因究明:事故データの分析

		1位	2位	3位	4位	5位
0~4歳		階段	椅子	ベッド	テーブル・机	自転車
		175人 8.0%	168人 7.7%	141人 6.5%	129人 5.9%	114人 5.2%
	0歳	ベッド	椅子	小物	テーブル・机	階段
		80人 17.1%	36人 7.7%	29人 6.2%	26人 5.5%	23人 4.9%
	1歳	椅子	階段	テーブル・机	自転車	薬
		61人 9.3%	60人 9.1%	36人 5.5%	32人 4.9%	27人 4.1%
	2歳	階段	椅子	テーブル・机	自転車	遊具
	50人 11.0%	35人 7.7%	31人 6.8%	28人 6.2%	25人 5.5%	
3歳	自転車	遊具	椅子	テーブル・机	おもちゃ※	
	25人 7.2%	22人 6.4%	21人 6.1%	20人 5.8%	19人 5.5%	
4歳	階段	遊具	自転車	テーブル・机	椅子	
	27人 10.4%	26人 10.0%	25人 9.6%	16人 6.2%	15人 5.8%	
5~9歳		自転車	遊具	階段	ドア	自動車
		97人 15.9%	66人 10.8%	41人 6.7%	32人 5.2%	29人 4.8%
	5歳	階段	自転車	ドア	自動車	椅子
		18人 10.0%	17人 9.4%	12人 6.7%	10人 5.6%	9人 5.0%
	6歳	自転車	遊具	ドア	階段	テーブル・机
		20人 13.0%	19人 12.3%	10人 6.5%	9人 5.8%	7人 4.5%
	7歳	自転車	遊具	自動車※	ボール※	階段※
	27人 23.1%	19人 16.2%	5人 4.3%	5人 4.3%	4人 3.4%	
8歳	自転車	遊具	階段	ドア	自動車	
	15人 16.9%	13人 14.6%	6人 6.7%	5人 5.6%	4人 4.5%	
9歳	自転車	遊具※	ボール※	階段※	自動車※	
	18人 25.7%	7人 10.0%	7人 10.0%	4人 5.7%	4人 5.7%	
10~14歳	自転車	ボール	自動車	遊具	テーブル・机	
	31人 15.7%	25人 12.7%	22人 11.2%	15人 7.6%	8人 4.1%	
15~19歳	自転車※	ボール※	ドア※	調理器具※	自動車※	
	3人 15.8%	3人 15.8%	2人 10.5%	2人 10.5%	1人 5.3%	

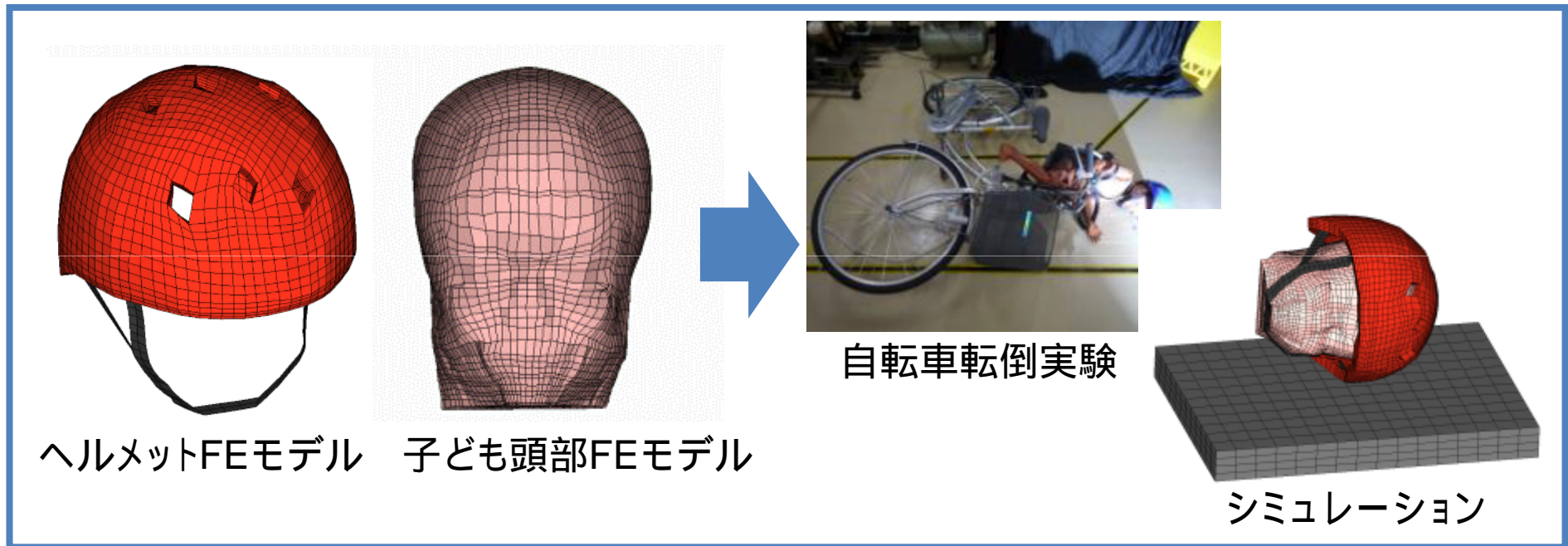
1位 自転車  
2位 階段  
3位 椅子  
4位 遊具  
5位 机

0~19歳		自転車	階段	椅子	遊具	テーブル・机
	245人 8.1%	220人 7.3%	189人 6.3%	171人 5.7%	154人 5.1%	
年齢不詳	7人	11人	7人	5人	4人	
全体	252人 8.1%	231人 7.4%	196人 6.3%	176人 5.7%	158人 5.1%	

データ:4,095件(2008年10月までに取得したもの)のうち、  
製品情報が記入されていた3,102のデータを使用

# 原因究明：自転車転倒による頭部外傷の分析

- シミュレーション技術を用いて、自転車転倒時にヘルメットの頭部外傷の予防効果を評価。



- 専用自転車とヘルメットの併用→頭部傷害の危険性が大幅減少  
(非専用自転車 + ヘルメット未装着と比較して96%の削減効果)
- 頭部にフィットしたヘルメット→脳震盪の抑制効果

# 情報発信：「キッズデザインの輪」の公開

- 子どもの月齢や成長・発育に応じた典型的事故のCG映像
- 収集した事故データ統計の閲覧・検索
- アクセス数：41,228件（7月5日時点）

<http://www.kd-wa-meti.com>



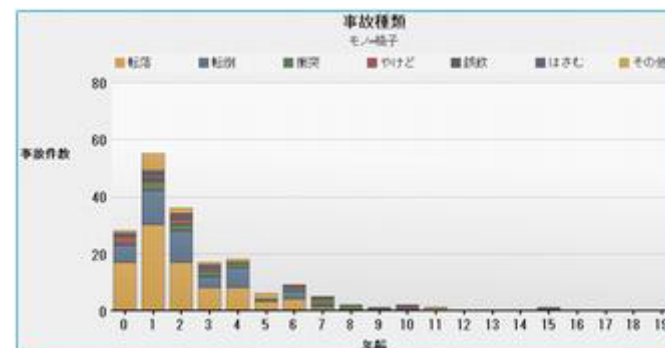
寝返りができる時期

寝返りができる時期  
寝返りができる時期の子どもは、ベビーベッドの柵の閉め忘れことや、一時的にソファや大人用のベッドに寝かせたことによって、寝返りをしたときに転落してしまうという事故が多いです。（以下の画像をクリックするとイメージ映像がご覧いただけます。）

▶ソファからの転落の場合  
 ▶ベビーベッドからの転落の場合

●その他、この時期によく見られる事故の例

▶抱っこ紐・クローバーベルトの装着時の転落の場合  
 ▶子どもを抱っこして階段を下りているときの転落の場合  
 ▶ファンタスターでの火傷の場合  
 ▶おんぶし、おんぶ時の転落の場合



ご静聴有り難うございました。

# キッズデザインとものづくり ～ 事故予防に向けて～

Takagi-mika@meti.go.jp